Pray for Rohingya
EXPECTANTLY SOWING

ロヒンギャ人のために祈る国際デー
2021年10月3日

絶望の淵に希望を

祖国ミャンマーでのひどい迫害をくぐりぬけたロヒンギャ人たちが、息も絶え絶えにたどり着いた土地でこんどは新型コロナウイルスの脅威が待っていました。生活の基盤もないなかで彼らはどんなにか途方に暮れていることでしょう。この国際祈祷日では、絶望の中の唯一の光であるイエス様に思いをむけて、世界中のひとがロヒンギャ人のためにともに祈ります。

「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。」(ローマ15:13)

ロヒンギャ人が経験してきた拒絶と虐待の歴史を思うにつけ、彼らが将来に明るい思いをもつことがどんなに難しいか案じています。世界中に散ってしまった彼らですが、その土地での出会いを通して、愛であるまことの父なる神様に出会えますように。そして神からくる愛、自由、希望を受け取れますように。　今年は三つの祈祷課題にしぼって祈ります。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。―主の御告げ―それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」(エレミヤ29:11)

Covid-19: 困難に希望を灯す

新型コロナの影響で世界経済と人々の生活は混乱しています。富の集中する国々であっても混乱しているのに、ましてや迫害を受け逃げ回っているロヒンギャ人のような人々の生活はどんなに打撃を受けていることでしょうか。

新型コロナの第三波がミャンマーを襲ったとき、軍事政変により医療体制が非常に弱くなっていた時と重なったため医療用酸素の供給もわずかで何千人もの犠牲者がでると予想されました。バングラデシュの難民キャンプへ逃げたロヒンギャはさらにひどい状況にあり、厳しい移動制限があるうえに働いて医療費を稼ぐ方法もない状況です。マレーシアのロヒンギャ人の多くは低賃金労働で家族を支えていますがコロナの影響で何か月も無収入です。どの国にいようがロヒンギャ人はその場所の経済状況への打撃のもっとも悲惨な影響を受けている人たちなのです。

「わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。私の前で思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。」(詩篇42:5)

- **新型コロナに感染した人々の癒しのため祈ろう**
- **愛する家族を感染で失った人たちへの慰めを**
- **働く道をとざされた人達が食べていけるように**
- **疲れ切り絶望した心にイエス様の希望が届くように**

インターネットでのつながり：希望をもって前へ

ロヒンギャ人の間でもインターネットにつながっている人がたくさんいます。人生の意味を探し求めている人たちに福音を届ける絶好のチャンスでもあります。最近ロヒンギャ語でプラットフォーム（ネット上の場所）を作り、そこにアクセスしてきた人たちにイエス様の希望を伝えていく働きが始まりました。聖霊がすでに個々の心に働きかけておられるので、そのようなロヒンギャ人が連絡してきたら応答するために献身した人たちが待機しています。入り口は広く、興味のある人がちょっと立ち寄れるような場所です。ゆくゆくは応答してきた人たちと信頼関係をつくって、直接会って信仰の話を深めたり、弟子訓練をするような実を結びたいと思っています。

たくさんのロヒンギャ人が主イエス様に将来の希望を置くようにと祈りましょう。

「しかし、**主を待ち望む者は新しく力を得、**鷲のようにつばさをかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。」（イザヤ40：31）

- **ロヒンギャ語のプラットフォーム（ネット上の場所）が必要としている人の目に留まりますように。**
- **ロヒンギャ人が勇気を出して質問をしてくるように**
- **キリスト者となったロヒンギャ人達が応答者として献身してる。彼らに危害が及ぶことがないように。**
- **インターネットの安全の問題に注意し、知恵をもって活動を運営できるように。**

レジリエンス：神に希望の錨（いかり）を下ろす

困難にあったときに立ち上がるしなやかさ（＝レジリエンス）の資質を持っているロヒンギャ人がとても多いように思います。生活が次々と変化しストレスが多いなかでもそれに適応しなくてはならず、困難から立ち直って歩き続ける力しなやかな力も持っている人々だと思います。しかし受けてきた傷と、傷つけた相手を赦せない思いが妨げとなり、キリストにある自由と愛を受け取ることができずにいます。本当のレジリエンスとは、困難に会って影響を受けずにいることではなく、困難を受けたとしてもその経験から立ち上がり成長することにあります。しかしこれは神様の愛の力、恵みと憐みがなくては無理なのです。主イエスを信じる信仰は神の力を私たちに注ぎ、どんな苦しみからでもしなやかに立ち直ることを可能にします。

「私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。」（第二コリント4：8-9）

この聖書箇所をロヒンギャ人への宣言として朗読してください。神様に創られ愛され心にかけられている存在だという事実をロヒンギャ人が知りますように。今彼らがいる悲惨な状況は最終章なのではなく、希望の神が彼らを満たし、困難から立ち上がるしなやかさを与えてくださいますように。

- **弱い立場におかれ攻撃を受けている彼らを神様が力づけ守ってくださるように祈りましょう。**
- **イエス様にこそ愛と平和があると発見できるように**
- **悲惨な迫害の中であまりに多くを失ってきたロヒンギャ人に主が希望を与えられると信じましょう。**
- **自分の理解に頼らず、主イエスの力により頼むことをロヒンギャ人が選ぶことができるように。**

祈ってくれてありがとう

Visit www.pray4rohingya.com